

3	単元名	名前を覚えよう
---	-----	---------

1 指導目標

- (1) 学用品の名前が分かるようにする。
- (2) 身の回りの物や学級の中にある物の名前が分かるようにする。
- (3) 学校のいろいろな施設や教室の名称、働く人の名前が分かるようにする。
- (4) 分からないことを友達や先生に聞くことができるようにする。

2 指導内容

- (1) 学用品や身の回りの物、学級や学校の中にある物の名前を理解させる。
- (2) 「これは、何ですか?」「～です。」「分かりません。」の言い方を練習させる。
- (3) 友達や先生とのコミュニケーションを通して、日本語の語彙を増やす。
- (4) 絵や写真のカードで、繰り返し練習し、日常生活で活用させる。

3 指導計画

時間	主な学習内容	指導上の留意点
1	<ul style="list-style-type: none"> ○学用品の名前を言う。 鉛筆、筆箱、消しゴム、下敷き ノート、教科書、リコーダー、セロハンテープ、定規、体操着、絵の具セット… ○「これは、何ですか?」「～です。」「分かりません。」の言い方を覚える。 「これは、何ですか?」 「消しゴムです。」 「分かりません。」 「これは、消しゴムです。」 ○身の回りの物や学級の中にある物の名前を覚える。 黒板、ロッカー、机、椅子、窓、オルガン、マジック、上履き… ○分からない物の名前を先生や友達に聞く。 ○ワークシートの絵を見て、名前を言ったり平仮名で書いたりする。 ○学習準備のやり方を知る。 「音楽で使う。」「使わない。」 ○いろいろな教科の学習準備を練習する。 「国語の用意」 「教科書、ノート、ドリル…」 	<ul style="list-style-type: none"> ・実物を指して言わせたり、名前当てゲームをしたりして、繰り返し練習させる。 ・ロールプレイで、話す練習をさせる。 ・母語に対応させて、理解させる。 ・新たに用意する必要がある学用品については、保護者に早めに知らせる。 ・実物、ワークシート、テキスト「たのしい学校」を活用する。 ・授業中だけでなく、休み時間や給食、掃除の時間も積極的にコミュニケーションを図る。 ・絵カードや実物を指して、繰り返し話す練習をさせる。 ・ワークシートに平仮名で名前を書き入れさせる。分からないときは、近くの友達に教えてもらうようにする。 ・友達と一緒に学習の準備をする。いろいろな教科の準備を練習する。 ・名前を声に出して言いながら、用意させる。(16 ページ、81 ページ)

2	<p>○友達と一緒に「学校探検」をする。 1階、2階、3階…、屋上、校庭 いろいろな施設の名前を知る。</p> <p>○「ここは、どこですか?」「～です。」「分かり ません。」の言い方を練習する。 図書室です。 音楽室です。</p> <p>○学校探検の後、写真や絵カードで確認する。</p> <p>○ワークシートの絵を見て、名前を言ったり平仮 名で書いたりする。(P.17)</p> <p>○学校生活や教科学習で使う用具の名前や学習 に必要な言葉を覚える。 掃除、きれいにする、給食を食べる、朝顔の観 察、調べる。…</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・母語版のテキスト「たのしいがっ こう」も活用する。 ・専科の授業などで教室移動の時や 休み時間などにも、教えたり話を させたりする。 ・一人で学習したり、友達と学習し たりできるようにする。 ・平仮名が全部書けないときは、手 本を用意してなぞらせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート(82ページから87 ページ)を使用する。 ・児童・生徒の学習レベルに応じて、 必要な言葉を覚えさせる。
---	--	---

4 指導のポイント

- (1) 友人の世話をしたり教えたりするのが得意な子供とペアを組ませ、グループの中で教えられ
るような関係を作る。
- (2) 実物や絵カード、写真、絵本、ワークシートなどを用いて繰り返し練習させる。発音にも気
を付け、声に出して言わせる。母語版のテキスト「たのしいがっこう」を併用して使用する。
- (3) 授業時間だけでなく、休み時間や家庭でも、絵カードを見て復習できるようにする。

5 期待される成果等

- (1) 友人や先生とのコミュニケーションを通して、日本語の語彙を増やすことができる。
- (2) 日常生活や学校に必要な言葉や会話が分かり、使うことができる。
- (3) 日本の学校生活に慣れ、適応することができる。

6 補充・発展的な学習課題例

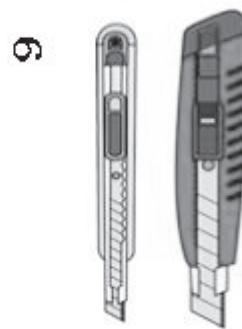
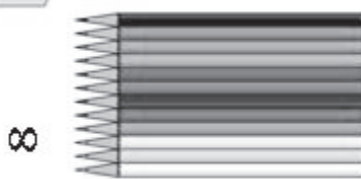
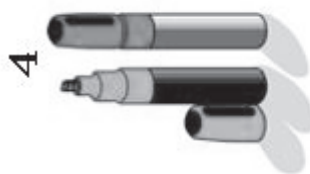
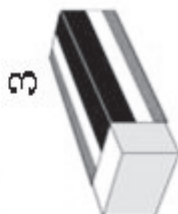
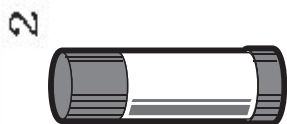
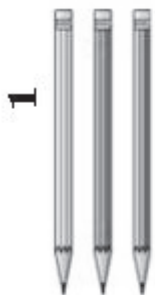
- (1) 校内の施設を紹介する。「ここは、～です。」
誰が、何をやる所かについて説明する。「校長先生が、仕事をする部屋です。」
- (2) 写真や絵に合わせて簡単な説明文を書き、新聞作りを行う。

7 実践例

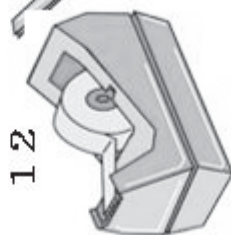
- (1) タガログ語を母語とする児童
学用品など身の回りの物の名前から日本語の学習を開始した。実物を使って話す、絵カード
やワークシートを使って話す・書く、ゲームをするなど、いろいろな活動を取り入れることが
できた。学習後に、カードで学びを振り返るとともに、友達と休み時間に練習をしていた。
- (2) 英語を母語とする児童
母語と対応させながら学習させ、母国での経験を生かすようにした。学習の準備については、
時間割を見ながら保護者と一緒に学習した。2人組でロールプレイをしながら会話練習をし
たり、グループのメンバーや教師とクイズやゲームをしたりして、楽しみながら学習する
ことができた。

なんですか？

です。



11



13



のべんきょうでつかいます。



15

ペン	クリップ	つくえ	ゆせいペン
さんかく じょうぎ	コンパス	たいそうぎ	いろえんぴつ
セロテープ	けしこむ	いす	カッター
ノート	えんぴつ	のり	はさみ
ピアノ	クレパス	けんばんハーモニカ	ボール

